

開講開始年度	2021
授業コード	1OB1130
担当教員	望月 秀樹
科目	情報処理論
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会からはもちろん、在学中においてもこれらの知識は実習や卒業研究などで必要になる。ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報を収集、整理ならびに伝達するのに必要な基本的技術を修得することを目指す。</p> <p>データサイエンスについて、演習以外の内容は、オンデマンドを併用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(2)豊かな創造性 柔軟な発想を基にした新たな知識・技術・システムを作り上げることができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 コンピュータを使用して情報を収集、整理ならびに伝達するのに必要な基本的技術を身に付ける。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①必要な情報を検索し収集することができる。</p> <p>②必要な情報を整理し様々な形で記録することができる。</p> <p>③必要な情報を集約し人に伝達することができる。</p> <p>④データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することが出来る。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 望月 秀樹、人見 太一 オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1.オリエンテーション[講義・質疑応答] 今後の授業の進め方について説明する。また、授業に必要な User ID と Pass Word を作成する。</p> <p>2.情報を検索する(検索エンジンを使った情報収集)[講義・演習・質疑応答] 検索エンジンを使った情報収集の方法を学び、実際に検索の練習を行う。</p> <p>3.情報を収集、記録する(MS Word 使用)[講義・演習・質疑応答] 適切な文章の書き方を学び、実際に MS Word 使用方法を練習する。</p> <p>4.情報を整理する—1(電子メールの利用)[講義・演習・質疑応答] 電子メールを利用する際のルールやインターネットの仕組みについて学び、それらの使用方法の練習を行う。</p> <p>5.情報を整理する—2(MS Excel の使い方)[講義・演習・質疑応答] 数値分析に関して学び、その過程で MS Excel の使い方を練習する。</p> <p>6.情報を整理する—3(MS Excel での計算)[講義・演習・質疑応答] MS Excel の使った方四則演算の方法を学び、実際に計算の練習を行う。</p> <p>7.情報を整理する—4(MS Excel 関数を使った計算)[講義・演習・質疑応答] MS Excel における関数の使用方法を学び、実際に計算の練習を行う。</p> <p>8.情報を整理する—5(MS Excel データ解析 1)[講義・演習・質疑応答]</p>

	<p>MS Excel における論理式の使用方法を学び、データ解析の方法を実際に練習する。</p> <p>9.情報を整理する—6(MS Excel データ解析 2)[講義・演習・質疑応答]</p> <p>MS Excel を使用したデータ解析方法を学び、実際に解析の練習を行う。</p> <p>10.情報を整理する—7(MS Excel 統計処理)[講義・演習・質疑応答]</p> <p>MS Excel を使用した統計処理の方法を学び、統計処理の練習を行う。</p> <p>11.情報を整理する—8(MS Excel グラフ作成)[講義・演習・質疑応答]</p> <p>MS Excel を使用した統計処理をする際に必要なグラフの作成方法を学びその練習を行う。</p> <p>12.情報を伝達する(MS Power Point の使い方 ) [講義・演習・質疑応答]</p> <p>情報の伝達方法を MS Power Point の使い方を学ぶ過程で身に着け、同時に MS Power Point の使い方を練習する。</p> <p>13.プレゼンテーション資料の作成[グループワーク]</p> <p>12 グループに分かれ MS Power Point を使用しプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>14.グループ発表会[プレゼンテーション]</p> <p>作成した資料を発表する。</p> <p>15.グループ発表会・まとめ[プレゼンテーション・講義]</p> <p>作成した資料を発表し、最後に授業のまとめを行う。</p> <p>※全ての回、全教員で担当する。</p> <p>★フィードバック方法:前回の講義内容の振り返りを次回の授業の冒頭で行う。</p> <p>&lt;オンデマンド授業&gt;</p> <p>オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。</p> <p>視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1.社会におけるデータ・AI 利活用[講義]</p> <p>社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2.データ・AI 利活用のための技術[講義]</p> <p>AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3.データリテラシー・データを読む[講義]</p> <p>データを読解について</p> <p>4.データリテラシー・データを扱う[講義]</p> <p>データの取り扱いと活用</p> <p>5.データ・AI 利活用における留意事項[講義]</p> <p>データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:最新の IT 技術に関して調べ興味を持ったものをノートへまとめる。</p> <p>復習:設定した User ID と Pass Word を記録しログイン方法に関してノートへまとめる。</p> <p>2.予習:検索エンジンを使った情報収集に関して調べノートへまとめる。</p> <p>復習:検索エンジンを使った情報収集に関して学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>3.予習:適切な文章の書き方と MS Word 使用方法について調べノートへまとめる。</p> <p>復習:適切な文章の書き方と MS Word 使用方法について学んだことをノートへまとめる。</p> <p>4.予習:電子メールやインターネットの仕組みについて調べノートへまとめる。</p> <p>復習:電子メールやインターネットの仕組みについて学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>5.予習:数値分析および MS Excel の使い方について調べノートへまとめる。</p> <p>復習:数値分析および MS Excel の使い方に関して学んだ内容をノートへまとめる。</p>

	<p>6.予習:MS Excel の使った方四則演算の方法を調べノートへまとめる。  復習:MS Excel の使った方四則演算の方法に関して学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>7.予習:MS Excel における関数の使用方法を調べノートへまとめる。  復習:MS Excel における関数の使用方法について学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>8.予習:MS Excel における論理式の使用法について調べノートへまとめる。  復習:MS Excel における論理式の使用法について学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>9.予習:MS Excel を使用したデータ解析方法について調べノートへまとめる。  復習:MS Excel を使用したデータ解析方法について学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>10.予習:MS Excel を使用した統計処理の方法について調べノートへまとめる。  復習:MS Excel を使用した統計処理の方法について学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>11.予習:MS Excel を使用したグラフの作成について調べノートへまとめる。  復習:MS Excel を使用したグラフの作成について学んだ内容についてまとめる。</p> <p>12.予習:MS Power Point の使い方について調べノートへまとめる。  復習:情報の伝達方法および MS Power Point の使い方について学んだ内容をノートへまとめる。</p> <p>13.予習:前回提示されたテーマについて調べノートへまとめる。  復習:グループワークで得た知識をノートへまとめる。</p> <p>14.予習:プレゼンテーションの練習をする。  復習:発表内容に関する修正や質疑の内容をノートへまとめる。</p> <p>15.予習:プレゼンテーションの練習をする。  復習:本授業で学んだ内容をしっかり復習しノートへまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は 60 分、復習は 60 分必要とする。</p> <p>オンデマンド授業について  下記テキストの各章を予習し、視聴後ノートを完成する。  ※授業外学習時間は 60 時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>情報活用力 ISBN:978-4-908-43425-9 noa 出版  データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>
参考書	適宜紹介する。
成績評価の方法・ ⑦ 基準	<p>定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:授業中の課題提出 (50%)、プレゼンテーション(50%)</p> <p>* オンデマンド授業の確認試験の成績は、授業中の課題成績に含まれる。</p>
URL	
備考	<p>第 2 回目以降、毎回 USB フラッシュメモリを持参すること。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:有 実務経験に係る保有資格(勤務年数 5 年以上):作業療法士</p> <p>実務経験をいかした教育内容:大学病院における急性期医療や老人保健施設・デイケア・デイサービスにおける地域医療での作業療法士としての実務経験に基づき、臨床実践において必要な情報処理の実習を行う。</p>

開講開始年度	2021
授業コード	10A1570
担当教員	出嶋 靖志
科目	公衆衛生学 I
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講 I では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。社会保障論・地域包括ケアシステムの理解についても学ぶ。なお、この科目は第一種衛生管理者免許資格取得のための要件なので、労働衛生の観点からも適宜解説する予定である。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(2)問題解決能力 自ら発見した問題や課題について、科学的かつ客観的に説明を加え、論理的に問題を解決できる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 公衆衛生学の基本的技術論、方法論について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学、疫学の基本概念について理解する。 ②年齢階層や、社会的機能集団の各次元それぞれの特質に合わせた取り組みについて理解する。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 出嶋 靖志</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1.地域社会と公衆衛生[講義・小テスト・質疑応答] 健康の概念、公衆衛生学の概念、予防医学の考え方について、その歴史的背景もふまえて学ぶ。</p> <p>2.疫学的なものの捉え方とは[講義・小テスト・質疑応答] 疫学の考え方、疫学指標、危険度(相対危険度、寄与危険度、オッズ比)について理解する。</p> <p>3.人口統計からみた地域と世界[講義・小テスト・質疑応答] 人口静態統計、人口指標、人口ピラミッド、高齢化と少子化について、地域・世界を比較して学ぶ。</p> <p>4.地域における保健栄養学的課題[講義・質疑応答] 国民健康栄養調査、食糧需給表などから食習慣、栄養摂取状況などについて学ぶ。</p> <p>5.地域と福祉[講義・質疑応答] 福祉・介護制度の概要、介護保険、介護保険サービスの基礎的事項を理解する。</p> <p>6.母子保健[講義・質疑応答] 母子保健の課題、母子保健事業などについて学ぶとともに、国の施策や法案についても理解する。</p> <p>7.学校保健[講義・質疑応答] 学校保健の概要について理解し、学校保健統計調査、学校感染症についても学ぶ。</p> <p>8.身近な遺伝問題と健康[講義・質疑応答]</p>

	<p>身近な遺伝問題と健康のかかわりについて理解するための、基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>9.精神保健[講義・質疑応答]</p> <p>ストレス、ストレスマネジメント、精神疾患・自殺の現状や予防対策について理解する。</p> <p>10.生活習慣病予防の取り組み[講義・質疑応答]</p> <p>主な生活習慣病の特徴、統計、その現状や予防について学ぶ。</p> <p>11.地域における環境課題[講義・質疑応答]</p> <p>公害や地球規模の環境問題について、基礎的事項を理解する。</p> <p>12.産業保健学概論[講義・質疑応答]</p> <p>労働衛生の基礎的事項、労働安全衛生対策、特定健康診査・特定保健指導などについて学ぶ。</p> <p>13.地域保健[講義・質疑応答]</p> <p>保健所、地域保健センターなど、地域レベルでの保健対策について理解する。</p> <p>14.保健統計 1[講義・小テスト・質疑応答]</p> <p>人口動態統計の概要、出生、死亡に関するさまざまな指標やデータについて学ぶ。</p> <p>15.保健統計 2[講義・小テスト・質疑応答]</p> <p>国民生活基礎調査、患者調査などの傷病統計の概要とデータについて理解する。</p> <p>★フィードバック方法:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-14.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。</p> <p>15.予習:これまでの授業内容を復習する。</p> <p>※1-15.復習:習った内容を自分なりにまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は45分必要とする。</p> <p>※公衆衛生学の領域は多岐にわたっており、断片的な学習となることが懸念される。当日講義予定の項目は、事前に教科書で予備的な知識を得るために十分に予習を行うこと。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	「衛生学・公衆衛生学第2版」(鈴木・高坂・出嶋・笹澤 共著)(ISBN:978-4-263-24169-1 医歯薬出版)
参考書	「国民衛生の動向」厚生統計協会
⑦ 成績評価の方法・基準	<p>定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:小テスト(40%)、最終レポート(60%)</p>
URL	
備考	<p>※テキストは毎年、修正・更新されているので、必ず最新の17刷を購入すること。最新版は大学の教科書販売で入手できる。ただし、他の授業で購入済みの場合は新たに買い直す必要は無い。</p> <p>※授業をZoomで行う場合は、学生の通信環境が様々であることを考慮して、録画してオンデマンドで見られるようにするので、授業に参加できなかった場合は録画を見ておくこと。</p> <p>※UNIPAによる情報配信に注意すること。</p> <p>第1種衛生管理者免許資格科目</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1OB1560
担当教員	出嶋 靖志
科目	公衆衛生学 I
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講 I では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。社会保障論・地域包括ケアシステムの理解についても学ぶ。なお、この科目は第一種衛生管理者免許資格取得のための要件なので、労働衛生の観点からも適宜解説する予定である。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(2)問題解決能力 自ら発見した問題や課題について、科学的かつ客観的に説明を加え、論理的に問題を解決できる。</p> <p>《一般目標(GIO)》</p> <p>① 公衆衛生学の基本的技術論、方法論について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学、疫学の基本概念について理解する。</p> <p>②年齢階層や、社会的機能集団の各次元それぞれの特質に合わせた取り組みについて理解する。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 出嶋 靖志</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1.地域社会と公衆衛生[講義・小テスト・質疑応答] 健康の概念、公衆衛生学の概念、予防医学の考え方について、その歴史的背景もふまえて学ぶ。</p> <p>2.疫学的なものの捉え方とは[講義・小テスト・質疑応答] 疫学の考え方、疫学指標、危険度(相対危険度、寄与危険度、オッズ比)について理解する。</p> <p>3.人口統計からみた地域と世界[講義・小テスト・質疑応答] 人口静態統計、人口指標、人口ピラミッド、高齢化と少子化について、地域・世界を比較して学ぶ。</p> <p>4.地域における保健栄養学的課題[講義・質疑応答] 国民健康栄養調査、食糧需給表などから食習慣、栄養摂取状況などについて学ぶ。</p> <p>5.地域と福祉[講義・質疑応答] 福祉・介護制度の概要、介護保険、介護保険サービスの基礎的事項を理解する。</p> <p>6.母子保健[講義・質疑応答] 母子保健の課題、母子保健事業などについて学ぶとともに、国の施策や法案についても理解する。</p> <p>7.学校保健[講義・質疑応答] 学校保健の概要について理解し、学校保健統計調査、学校感染症についても学ぶ。</p>

	<p>8.身近な遺伝問題と健康[講義・質疑応答] 身近な遺伝問題と健康のかかわりについて理解するための、基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>9.精神保健[講義・質疑応答] ストレス、ストレスマネジメント、精神疾患・自殺の現状や予防対策について理解する。</p> <p>10.生活習慣病予防の取り組み[講義・質疑応答] 主な生活習慣病の特徴、統計、その現状や予防について学ぶ。</p> <p>11.地域における環境課題[講義・質疑応答] 公害や地球的規模の環境問題について、基礎的事項を理解する。</p> <p>12.産業保健学概論[講義・質疑応答] 労働衛生の基礎的事項、労働安全衛生対策、特定健康診査・特定保健指導などについて学ぶ。</p> <p>13.地域保健[講義・質疑応答] 保健所、地域保健センターなど、地域レベルでの保健対策について理解する。</p> <p>14.保健統計 1[講義・小テスト・質疑応答] 人口動態統計の概要、出生、死亡に関するさまざまな指標やデータについて学ぶ。</p> <p>15.保健統計 2[講義・小テスト・質疑応答] 国民生活基礎調査、患者調査などの傷病統計の概要とデータについて理解する。</p> <p>★フィードバック方法:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-14.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。</p> <p>15.予習:これまでの授業内容を復習する。</p> <p>※1-15.復習:習った内容を自分なりにまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は45分必要とする。</p> <p>※公衆衛生学の領域は多岐にわたっており、断片的な学習となることが懸念される。当日講義予定の項目は、事前に教科書で予備的な知識を得るために十分に予習を行うこと。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	「衛生学・公衆衛生学第2版」(鈴木・高坂・出嶋・笹澤 共著)ISBN:978-4-263-24169-1 医歯薬出版
参考書	「国民衛生の動向」厚生統計協会
⑦ 成績評価の方法・基準	<p>定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:小テスト(40%)、最終レポート(60%)</p>
URL	
備考	<p>※テキストは毎年、修正・更新されているので、必ず最新の17刷を購入すること。最新版は大学の教科書販売で入手できる。ただし、他の授業で購入済みの場合は新たに買い直す必要は無い。</p> <p>※授業をZoomで行う場合は、学生の通信環境が様々であることを考慮して、録画してオンデマンドで見られるようにするので、授業に参加できなかった場合は録画を見ておくこと。</p> <p>※UNIPAによる情報配信に注意すること。</p> <p>第1種衛生管理者免許資格科目      ≪実務経験のある教員による授業科目≫</p>

	科目代表教員の実務経験有無:無
--	-----------------